

歴博暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会 暮らしの植物苑東屋

第116回 11月22日(土) 13:30から

『古典菊の品種の特徴と大名庭園の菊作り』 小笠原 亮 (江戸園芸研究家)

第117回 12月5日(土) 第4土曜ではありません、ご注意ください 13:30から

『サザンカの文化史』 箱田直紀 (恵泉女学園大学名誉教授)

伝統の古典菊



古典菊看板



平川館長挨拶



平野展プロ委員



山村技術補佐員解説

28日内覧会の様子
今年度のテーマ
古典菊 嗟峨菊、肥後菊の
栽培法・展示法

嗟峨菊



輝



暁

嗟峨菊は一重咲で、
平弁が50余弁つきます。
初め弁はよじれていますが
満開になると筆先のように
立ってきます。

伊勢菊



酔妃



紅玉

伊勢菊は弁の両端がよれて管弁状に見える平弁で、咲き始めは独特の渦巻き状となるものが多い

江戸菊



雲雀の床



春俣

江戸菊は舌状の管弁・さし弁・平弁の種類をひらくだけではなく、よれたり、立ち上がって独特の花弁の動きをします。



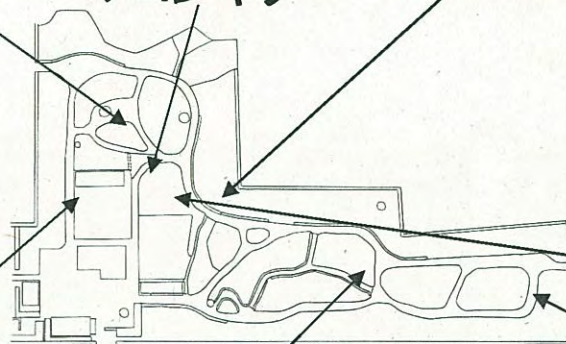
コンギク



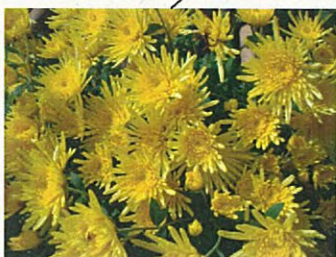
ノコンギク



サカキ



サワフタギ



食用菊



ハヤトウリ



カマツカ